

第4回学長と卒業予定者との 懇談会を開催

3月7日(火)に、第4回学長と卒業予定者との懇談会を開催しました。この懇談会は、平成14年度から開催しているもので、各学部から卒業予定者8名と大学側から齋藤学長、三宅理事、福永理事及び上園副学長の4名が出席しました。

学生からは4年間又は6年間の学生生活で感じたこと、思ったことについて率直な意見が出され、特に「学生による授業評価」、「夜間の施設利用」について多くの貴重な意見が出されました。

楽しい雰囲気の中、学生と学長らがお互いの理解を深め、非常に有意義な懇談会となりました。



学長と懇談する卒業予定者

第31回九州アンサンブルコンテストにおいて、 教育学部附属小学校金管バンド部と、 本学の吹奏楽部が各賞受賞



吹奏楽部の打楽器八重奏の演奏



受賞を喜ぶ教育学部附属小学校の生徒たち

2月10日(金)から12日(日)にかけて大分県別府市で開催された第31回九州アンサンブルコンテストにおいて、教育学部附属小学校金管バンド部が金賞及び最優秀賞を、また、本学の吹奏楽部の打楽器八重奏グループが銀賞を受賞しました。吹奏楽部の同グループは、九州代表として3月21日(火)に岩手県盛岡市で開催された第29回全日本アンサンブルコンテストにも出場し、銀賞を受賞しました。

新興・再興感染症研究にかかる 共同研究室をベトナム国立衛生 疫学研究所に開所

3月17日(金)、ベトナムのハノイにあるベトナム国立衛生疫学研究所(National Institute of Hygiene and Epidemiology)において、新興・再興感染症研究拠点プロジェクト共同研究室の開所式が盛大に執り行われました。

この共同研究室では、長崎大学がNIHEと共同研究を行い、デング熱、SARS、鳥インフルエンザなどを含む新興・再興感染症が流行する根本的要因を科学的に追求し、新しい予防対策に資することを目標としています。

開所式は、日本側からは服部則夫在ベトナム日本大使館特命全権大使、富岡勲衆議院議員、林幸秀文部科学省文部科学審議官ら、ベトナム側からは保健大臣、計画投資省高官などベトナム政府主要関係機関代表者らが来賓として出席し、齋藤学長及びムエン・トラン・ヒエンNIHE所長が、挨拶を行い、今後の活動の成功を祈念しました。



挨拶する齋藤学長

学長賞授与式を挙行

3月22日(水)から3月24日(金)までの3日間にかけて、学長賞授与式が挙行されました。学長賞は、卒業又は修了時において特に優秀な成績を修めたと認められる学生、学術研究活動において顕著な業績を挙げたと認められる学生又は学生団体等を表彰するものです。今回は、学生27名、学生団体6団体について表彰状と記念品が授与されました。



授与式終了後の記念撮影

ゴメリ医科大学へインターネットで遠隔講義を実施

医歯薬学総合研究科は、4月21日(金)、昭和61年4月26日に起きたチェルノブイリ原子力発電所の事故から20年を迎えるにあたり、ベラルーシ共和国のゴメリ医科大学との間でインターネット回線を利用した遠隔講義を国立長崎原爆死没者平和祈念館で行いました。

同研究科は、平成3年からチェルノブイリ周辺住民の健康影響調査や医療支援、共同研究を行うと同時に、被曝者医療に携わる医師や医学生の教育支援にも力を入れてきました。平成14年度からは21世紀COEプログラム「放射線医療科学国際コンソーシ



ゴメリ医科大学との遠隔講義の様子

アム」を開始し、その柱の一つとして「放射線医療科学の Learning プログラム」を推進してきました。今回の遠隔講義はこの Learning プログラムの一環として行ったものです。塚崎邦弘助教が「白血病治療の最新知見」のテーマで講義を行い、質疑応答の後、WHO(世界保健機関)に出向中の山下俊一教授の講義も行われ、長崎にもリアルタイムで中継されました。

長崎大学
名誉校友称号を授与

長崎大学名誉校友称号の制度は、平成17年5月27日に新設されたもので、長崎大学の卒業生で各界において顕著な功績を挙げ、長崎大学の名誉を高めたい者に対し授与されるものです。3月1日(水)、元大和証券株式会社取締役会長の土井定包氏に長年に亘るあまたの国家、社会への絶大な貢献と証券業界の健全な発展に大いに寄与された功績により名誉校友が授与されました。



名誉校友記授与後、懇談する土井定包氏(写真中央)

また、5月6日(土)、留学生として本学で学び、母国台湾の大学の学長として活躍している高雄海洋科技大学長の陳哲總氏に名誉校友記が授与されました。



齋藤学長と記念撮影する陳哲總氏(写真左)

タイ王国保健省医科学局
と学術交流協定を締結

3月25日(土)、長崎大学はタイ王国保健省医科学局と学術交流協定を締結しました。



協定書締結の様子

パイチャット ワラチャット局長以下3名が長崎大学を訪問し、調印式を行った後お互いの機関の概要説明と今後の活動等について活発な意見交換が行われました。

中国中南大学と学術交流
協定を締結

4月18日(火)、中南大学(中国)の田副学長以下6名が長崎大学を訪問し、学術交流協定を締結しました。



交流協定締結後の記念撮影

これにより本学が海外の大学等研究機関と締結している学術交流協定は83件となりました。